

災害対策パンフレット

～患者自身の意識を高める工夫～

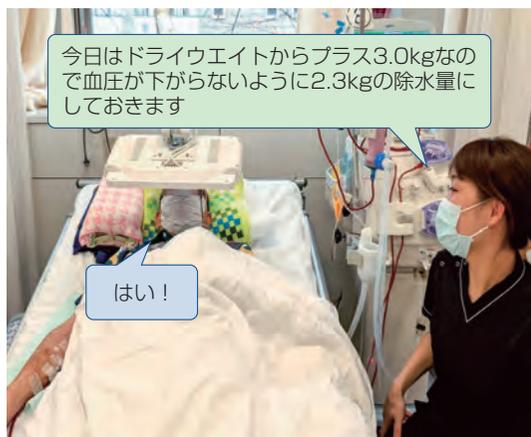
過去の災害経験からの課題とは？

- 日ごろの透析治療を医療従事者・家族にすべて任せている状況だと、災害時に「自分の問題」と捉えられず、人任せの行動になってしまい自分の命を自分で守れなくなります。
- 災害時に透析手帳を持参していない場合に、支援透析先でドライウエイト・穿刺部位や方向・禁忌薬などを患者自身が知らない状況だと、治療に支障を来す場合があります。

災害時に備えて、ここだけは覚えておきましょう！

- 災害が発生したら、日常とは違う状況だという意識をもって災害の「スイッチ」を入れましょう。
- 透析手帳などは患者自身が管理し、災害時に活用できるように工夫し、日ごろの透析治療時でも使用できるようにしましょう。
- ドライウエイト・穿刺部位や方向・禁忌薬などは、患者自身が覚えられるように、日々の透析中から興味をもつよう心がけましょう (図)。

×



○

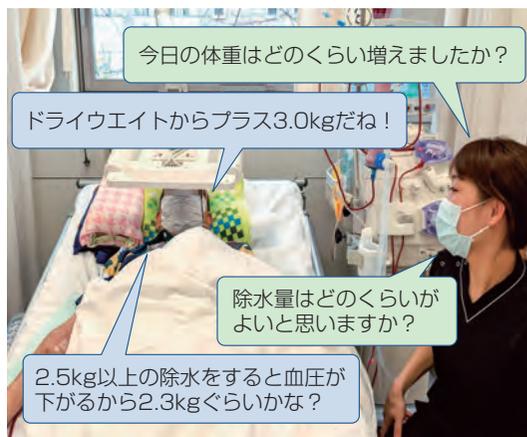


図 災害を意識した患者指導の工夫

日ごろから自身の透析条件への理解に努めましょう。